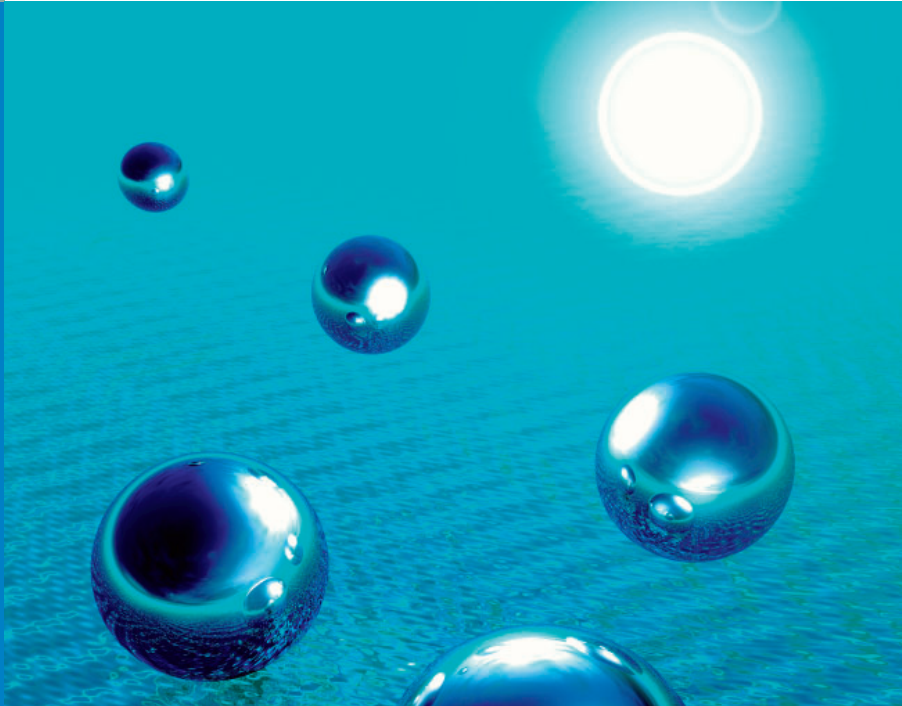


# 第65期 報告書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

## The Business Report



**黒田精工株式会社**

証券コード：7726

## ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第65期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

また、私儀平成21年6月26日付けにて、前任前田哲也の後任として代表取締役社長に就任いたしました。微力ではございますが、なお一層社業の発展に専心努力いたす所存でございますので、株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月



代表取締役社長

黒田 浩史

## 当連結会計期間の概況

当連結会計年度の当社の状況を振り返りますと、上期から半導体関連業界を始めとする需要環境は弱含みでスタートしましたが、平成20年9月のリーマンショックをきっかけとして世界的に急激な景気後退が起きたことの影響を受け、当社グループの主要顧客であるIT関連業界、自動車関連業界、工作機械業界等において例外なく大幅な生産の減少となり、当社の受注・売上も年度後半から急減する事態となりました。その結果、平成20年度の当社グループの受注高は10,214百万円（前年度比4,849百万円、32.2%減）、連結売上高は11,382百万円（前年度比4,018百万円、26.1%減）となりました。

このような環境悪化に対応すべく、諸経費や固定費の削減を中心とした緊急対策を講じましたが、6期ぶりに損失計上という誠に残念な結果に終わりました。配当につきましては、資金状況や平成21年度の経済環境等を考慮し、誠に遺憾ながら6期ぶりに無配とさせていただくことにしました。株主の皆様には大変申し訳なく存じますが、何卒ご理解を賜るようお願い申し上げます。

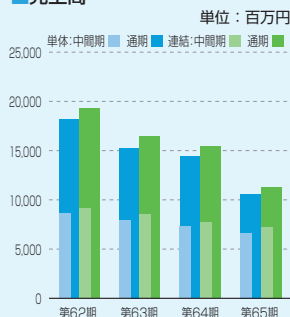
# 来期の見通し

平成21年度につきましては、各国の景気刺激策等もあり消費活動・生産活動は徐々に回復するものと期待しておりますが、米国経済を始めとする世界経済の復調には時間がかかるものと予想され、当社グループの事業環境は当面厳しい状況が継続すると考えております。引き続き原価低減や人件費等の固定費の削減、新規市場の開拓や事業構造の改革に全力を挙げて取り組みますが、上期の受注・売上は低水準が続いて損益の好転には至らず、下期に入ってから緩やかな回復基調となり収支が改善していくものと予想しております。

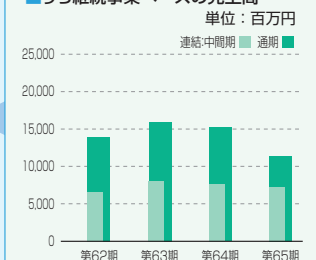
平成21年度の連結業績予想といたしましては、売上高9,500百万円、営業損失680百万円、経常損失860百万円、当期純損失1,080百万円を見込んでおります。一日も早い業績回復を目指して、社長以下全従業員一丸となって努力いたしますので、株主の皆様には何卒ご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 決算ハイライト

### 売上高

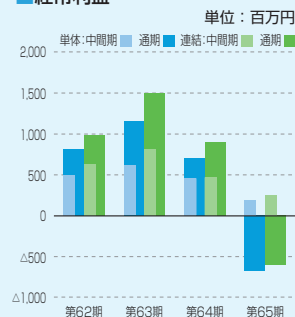


### うち継続事業ベースの売上高

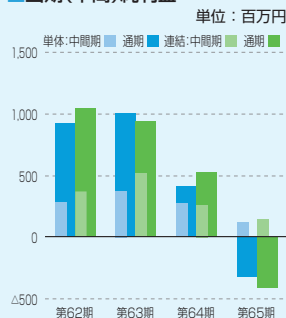


当社経由で販売しております空気圧機器のお客様には、持分法適用関連会社クロタニューマティクス株式会社の直接取引への変更を進めておりますので、継続事業ベースでの売上高を明示しました。

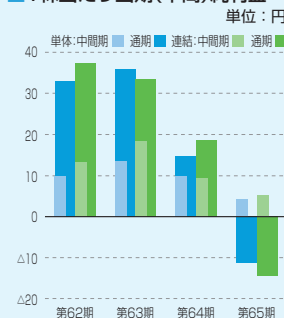
### 経常利益



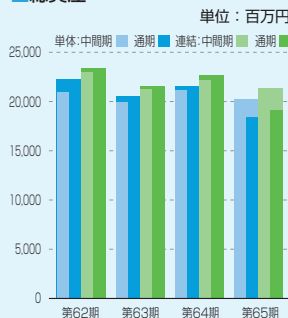
### 当期(中間)純利益



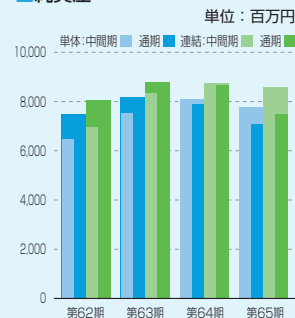
### 1株当たり当期(中間)純利益



### 総資産



### 純資産



## ■精密機器部門

### ■ボールねじ

当連結会計年度上期につきましては、主要ユーザーである半導体製造装置関連業界向け売上は、前年度に引き続き低調に推移しましたが、液晶、マウンター、工作機械関連業界向け売上は、前年度を上回る状況でした。しかし、下期に入りますと、急激な輸出不振がきっかけとなり、産業界全体に亘って生産調整が拡がり、ほとんど全ての業界からの受注が激減しました。このような環境下、新規の市場を求め、医療、分析器、太陽光発電、二次電池関連等の業界への参入を目指して営業活動を強化し、海外市場などで相応の成果を上げたものの、市場規模の

大きい従来からのユーザー向けビジネスの落込みの影響を免れることはできませんでした。

この結果、ボールねじ製品の受注高は 3,242百万円（前年度比1,389百万円、30.0%減）、売上高は3,374百万円（前年度比1,382百万円、29.1%減）となりました。



売上高 **3,374** 百万円  
前年同期比 **29.1%**減

### ■空気圧機器

平成18年3月のクロダニューマティクス株式会社の株式売却以降、当社グループの空気圧機器の取扱いは、想定どおり減少しており、現状では、コンプレッサーを扱うクロダイナターナショナル株式会社の営業活動が中心となっております。

この結果、空気圧機器製品の売上高は406百万円（前年度比249百万円、38.0%減）となりました。

売上高 **406** 百万円  
前年同期比 **38.0%**減

### ■ツーリング・ゲージ

ツーリングにつきましては、下期に入ってから主要顧客である自動車メーカーの世界市場における急激な販売不振により、業界の生産設備投資が一挙に凍結となり、さらに関連部品製造業界もその影響を受けて一斉に発注を停止したため、売上が低迷しました。ゲージ製品につきましても、自動車関連業界からの発注減少に加え、油井管ゲージも原油価格が期央頃より不安定な展開となったため需要減退となり、受注・売上ともに減少を余儀なくされました。

この結果、ツーリング・ゲージ製品の受注高は 2,183百万円（前年度比904百万円、29.3%減）、売上高は2,529百万円（前年度比558百万円、18.1%減）となりました。



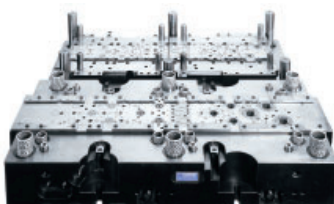
売上高 **2,529** 百万円  
前年同期比 **18.1%**減

## ■システム機器部門

### ■プレス型

主力製品である精密プレス型（当社商品名：FASTEC型）は、日本の製造業全般に亘って設備投資が減少していく中、月を追って受注額の減少が顕著となり、特に第4四半期に至り、これまで経験のない落ち込みを示しました。一方、ハイブリッド自動車搭載用モーターコアの売上は、第4四半期に始まった新機種の寄与もあり、好調な売上を計上しました。また、携帯電話搭載用振動モーターに代表される超小型コアにつきましては、第3四半期以降の携帯電話の売上低迷と在庫消化の影響を受け、大幅な売上減少となりました。

この結果、プレス型製品の受注高は、2,436百万円（前年度比930百万円、27.6%減）、売上高は2,842百万円（前年度比675百万円、19.2%減）となりました。



売上高 **2,842** 百万円  
前年同期比 **19.2%**減

### ■工作機械

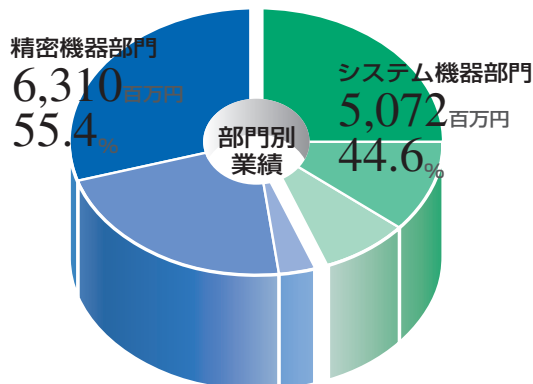
主力製品である平面研削盤につきましては、期初にGS-1PFシリーズおよびGS-45シリーズの受注が好調にスタートしましたが、その後世界経済の変調を受けて弱含みの展開となりました。上期の売上は、受注残に支えられ順調に推移したものの、下期に入ってから、主要顧客である金型メーカーや精密電気電子部品業界の設備投資の冷え込みにより受注・売上が急減しました。

この結果、工作機械製品の受注高は1,112百万円（前年度比714百万円、39.1%減）、売上高は1,272百万円（前年度比662百万円、34.2%減）となりました。



売上高 **1,272** 百万円  
前年同期比 **34.2%**減

## 部門別売上構成比



## 精密測定装置他

超精密表面形状測定装置（当社商品名：ナノメトロ300TT）は、顧客先であるシリコンウェハーメーカー各社の急激な在庫調整、生産調整の影響を受け、第3四半期以降は受注、売上が大幅に低下しました。また、大型液晶テレビ市場の冷え込みに伴い、液晶フォトマスク用大型平坦度測定装置（当社商品名：ナノメトロFTT1500）の売上も失速状態となりました。

この結果、精密測定装置他製品受注高は838百万円（前年度比669百万円、44.4%減）、売上高は956百万円（前年度比490百万円、33.9%減）となりました。



売上高	956	百万円
前年同期比	33.9%	減

本田技研工業様  
インサイト

4月販売台数は1万台を突破



## 精密モーター用コア

ハイブリッド車の心臓部であるメインモーター用コアの供給をしております  
昨年秋よりインサイト用のコア供給も開始しました

## KURODAのエコ

クロダのコアコンピタンスである精密技術を基に地球温暖化防止に貢献しています



## エコセーバー

切削油の消費量を削減します



## 接着による薄板積層コア

薄板相互間での絶縁性向上により、電流ロスを軽減します  
モーターへの採用では静音性も期待されます

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流 動 資 産	7,759	10,897
固 定 資 産	11,337	11,813
有 形 固 定 資 産	8,914	8,866
無 形 固 定 資 産	136	140
投 資 そ の 他 の 資 産	2,286	2,806
資 産 合 計	19,097	22,710
<b>負債の部</b>		
流 動 負 債	5,073	8,092
固 定 負 債	6,476	5,945
負 債 合 計	11,549	14,038

科 目	当 期	前 期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
<b>純資産の部</b>		
株 主 資 本	6,000	6,672
資 本 金	1,875	1,875
資 本 剰 余 金	1,451	1,451
利 益 剰 余 金	2,680	3,351
自 己 株 式	△6	△5
評 価 ・ 換 算 差 額 等	1,399	1,844
土 地 再 評 価 差 額 金	1,337	1,337
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	136	495
為 替 換 算 調 整 勘 定	△73	11
少 数 株 主 持 分	147	155
純 資 産 合 計	7,547	8,672
負 債 ・ 純 資 産 合 計	19,097	22,710

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成20年4月1日～ 平成21年3月31日	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日
売 上 高	11,382	15,401
売 上 原 価	9,447	11,708
売 上 総 利 益	1,935	3,692
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,618	2,962
営 業 利 益	△682	730
営 業 外 収 益	357	420
営 業 外 費 用	270	253
経 常 利 益	△596	897
特 別 利 益	46	—
特 別 損 失	83	12
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	△632	885
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	29	308
法 人 税 等 調 整 額	△265	23
少 数 株 主 利 益	10	34
当 期 純 利 益	△408	518

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成20年4月1日～ 平成21年3月31日	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日
営 業 活 動 による キャッシュ・フロー	564	508
投 資 活 動 による キャッシュ・フロー	△1,507	△1,633
財 務 活 動 による キャッシュ・フロー	409	1,808
現 金 及 び 現 金 同 等 物 に 係 る 換 算 差 額	△113	8
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 増 減 額	△646	691
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 首 残 高	3,958	3,267
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 末 残 高	3,312	3,958

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

# 単体財務諸表

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,084	10,093
現金・預金	2,957	3,053
受取手形・売掛金	1,468	3,528
有価証券	—	499
棚卸資産	2,217	2,635
その他の	441	376
固定資産	11,295	11,479
有形固定資産	8,536	8,364
無形固定資産	134	137
投資その他の資産	2,624	2,977
<b>資産合計</b>	<b>18,379</b>	<b>21,573</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,967	7,912
支払手形・買掛金	1,209	2,861
短期借入金	3,149	2,986
その他の	608	2,064
固定負債	6,350	5,778
長期借入金	3,128	2,678
退職給付引当金	1,904	1,900
その他の	1,317	1,199
<b>負債合計</b>	<b>11,318</b>	<b>13,690</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	5,587	6,050
資本金	1,875	1,875
資本剰余金	1,451	1,451
利益剰余金	2,267	2,729
自己株式	△6	△5
評価・換算差額等	1,474	1,833
その他有価証券評価差額金	136	496
土地再評価差額金	1,337	1,337
<b>純資産合計</b>	<b>7,061</b>	<b>7,883</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>18,379</b>	<b>21,573</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成20年4月1日～平成21年3月31日	平成19年4月1日～平成20年3月31日
売上高	10,530	14,404
売上原価	8,919	11,171
売上総利益	1,611	3,232
販売費・一般管理費	2,349	2,694
<b>営業利益</b>	<b>△738</b>	<b>537</b>
営業外収益	337	415
営業外費用	262	249
<b>経常利益</b>	<b>△663</b>	<b>704</b>
特別利益	168	22
特別損失	90	11
<b>税引前当期純利益</b>	<b>△585</b>	<b>715</b>
法人税、住民税及び事業税	12	284
法人税等調整額	△276	19
<b>当期純利益</b>	<b>△321</b>	<b>410</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

# 会社の概況

## ■ 会社の概要 (平成21年3月31日現在)

商号 黒田精工株式会社  
本店 神奈川県川崎市幸区下平間239番地  
創業 1925年(大正14年)  
資本金 18億7500万円  
従業員数 501名

## ■ 連結対象会社の状況 (平成21年3月31日現在)

連結子会社 クロダイインターナショナル株式会社  
クロダプレジジョンインダストリーズ(M)(マレーシア)  
平湖黒田精工有限公司(中国)  
永昇電子株式会社  
持分法適用関連会社 株式会社ゲージング  
日本金型産業株式会社  
クロダニューマティクス株式会社  
株式会社TGK

## ■ 当社グループの主要な事業

部門	製品グループ	主要製品
精密機器	ボールねじ	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ
	ツーリング ・ゲージ	MCツーリング、専用ツーリング、ハイドロリックツール、微量潤滑油供給装置(当社商品名:エコセーバ)、その他各種保持工具、油井管用ねじゲージ、ねじゲージ、ブロックゲージ、一般ゲージ類
	空気圧機器	電磁弁、アクチュエータ、エアクリン機器、省配線システム、各種補器類、コンプレッサ
システム機器	プレス型	積層精密プレス型(当社商品名:FASTEC型)、モータコア型、順送り用精密プレス型、精密金属プレス製品
	工作機械	平面研削盤(NC機を含む)、スーパーポリシングマシン
	精密測定 装置他	超精密表面形状測定装置(当社商品名:ナノメトロ300TT)、液晶フォトマスク用大型平坦度測定装置(当社商品名:ナノメトロFTT1500)、パルスエンコーダ、医療用機器、電子機器

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 毎年3月31日

定時株主総会・期末配当

公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。(電話照会先)

<http://www.kuroda-precision.co.jp/>

ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

### ● 住所変更など諸手続のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

(中央三井信託銀行への手続用紙<住所変更・買取請求・配当金振込指定など>のご請求)

フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声)

ホームページアドレス [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

### ● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

# 黒田精工株式会社

本社/〒212-8560 神奈川県川崎市幸区下平間239番地  
TEL/044-555-3800(代表) FAX/044-555-3524  
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>



再生紙を使用し、大豆油を利用したソイ・インキを使用しています。